

排水溝蓋取替工の作業手順

(園原基地グレーチング取替)

制定・改定日 2023.6.8

項目	内容	留意事項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業打合せ(KY活動) 作業人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検 	<ul style="list-style-type: none"> 安全打合せ書による。 作業別安全チェックシートの活用。
カッター工	<ul style="list-style-type: none"> 既設排水溝際のカッター切断位置を墨出し、マーキングする。 カッターで施工予定ラインに沿って舗装部を切断する。 	<ul style="list-style-type: none"> 切断位置に沿って確認しながら作業する。 ブレード付近には、手・足を近づけない。 防塵マスク、保護メガネ、耳栓を使用する。
既設排水溝蓋解体	<ul style="list-style-type: none"> 現場KY活動の実施 取替箇所の舗装取壊し 既設排水溝蓋撤去 	<ul style="list-style-type: none"> 作業に関する注意事項を確認し、KYTを行う。 有資格者による、機械作業を行う。 防塵マスク、保護メガネ、耳栓を使用する。 はつり作業時は、飛散防止処置を行う。 車輛移動は必ず誘導を行う。
排水溝清掃	<ul style="list-style-type: none"> 蓋を撤去した後、側溝内の清掃を行う。この時既設側溝の形状確認も行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃を行う際、堆積物の除去も行い、出来る限り側溝の原型に戻し、流量を確保する。
型枠設置	<ul style="list-style-type: none"> 既設排水溝と新規排水蓋の形状に合わせて型枠を設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 切断機等を使用する時は、切創手袋を使用する。 型枠の破損・変形がないか確認する。
コンクリート打設	<ul style="list-style-type: none"> コンクリート打設面を清掃する。 バイブレーターをかけコンクリートの均一性を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> コンクリートを横移動させない。 打設面が不連続にならないように打設を行う。
排水蓋設置	<ul style="list-style-type: none"> 型枠を取り外す。 排水蓋設置後、ボルトで固定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 排水蓋設置時は、必ず2人以上で作業を行う。 固定ボルトの締付確認を行う。
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 私用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に清掃する。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。 はつりかす・材料かすが無いように、綺麗に清掃する。

作業編成(標準)		機材		資材		安全器具・保護具	
作業責任者	1名	コンクリートカッター	グラインダー	グレーチング蓋		ヘルメット	切創手袋
作業員	4名	エンジンカッター	ハンマードリル	二方L枠		反射(自発光)チョッキ	
現場監視員	1名	チップパー	丸鋸	コンクリート		警笛	
		プレーカー	スコップ	型枠		保護メガネ	
		コンプレッサー	竹ぼうき	アスファルト舗装		防塵マスク	
		発電機				耳栓	

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

■注意事項

- 事前に埋設物及び埋蔵文化財包蔵地並びに上下水道管の確認を行い、必要に応じてHSCと協議を行うこと。
- 機械作業は、有資格者が必ず行う。(免許・資格証は必ず携帯する)
- 機械の操作方法、安全装置の確認を充分行うこと。
- 作業に合った保護具を使用する。(保護メガネ・防毒・防塵マスク・耐切創用手袋等)
- 消火器を設置する。
- 一人作業の禁止
- 手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
- 作業で使用しない工具は、発電機を切るかコンセントを抜き、誤作動がおこらないようにする。